

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	平成2年 2月 7日
発信課	旭川市保健所 保健総務課
担当者	池田 真由美
連絡先	電 話 0166-25-6354
	FAX 0166-26-2912
	E-mail hokensoumu@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事
日 程	令和2年2月29日 土曜日 14:00～16:00
発表項目 (行事名)	在宅医療 市民講演会 「できることをできるだけ」～最期まで自分の家で過ごすために～
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>在宅医療とは、「できる限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けたい」というご本人の思い、ご家族の思いを大切にしながら、医療と介護の専門職が連携し、住み慣れた自宅や施設での療養生活を支える仕組みです。 今後、高齢人口が増加し、慢性疾患を抱える方も増加することが予測される中では、誰しも在宅医療が必要となる可能性があります。</p> <p>今回は、皆さんに在宅医療を学んでいただける機会となるよう、鈴木央氏を講師に講演会を行います。 鈴木氏は「在宅医療に取り組み、がん緩和ケアなども行っている医師」です。父である鈴木壮一氏が日本に紹介したホスピス、ターミナル・ケアの概念を引き継ぎ、プライマリ・ケア、特に在宅ケアを専門としています。</p> <p>○日時: 令和2年2月29日(土) 14:00～16:00 ○会場: 星野リゾートOMO7 旭川 3階「彩雲の間」 ○内容: 講演「できることをできるだけ」～最期まで自分の家で過ごすために～ ○講師: 在宅医療医歯薬連合会会長/在宅療養支援診療所連絡協議会副会長/ 東京都大森医師会理事/鈴木内科医院 院長 鈴木 央 氏 ○参加費: 無料 ○申込み: 不要 ○お問い合わせ: 旭川市医師会 電話 23-5728 旭川市保健所 保健総務課 電話 25-6354 ○共催: 旭川市医師会, 旭川市</p>
添付資料	<p>有 チラシのデータを添付します。</p> <p>※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。</p>
報道(取材)に 当たっての願 い	開催に向けて市民の方々に広くお知らせしたいため、よろしくお願いいたします。
備 考	

旭川市委託事業

在宅医療

市民講演会



～人生100年時代～

最期の**自分**を想いましょう。自分らしくその日を迎えるために
もう少し**在宅医療**について学びませんか？

日時

令和2年**2月29日**^土午後2時～午後4時

場所

星野リゾート OMO7 旭川
3階「彩雲の間」
(旭川市6条通9丁目/TEL: 24-2111)

対象

地域住民・医療介護関係者

参加費
無料

申込不要

講演

『できることをできるだけ』

～最期まで自分の家で過ごすために～

講師

在宅療養支援診療所連絡協議会 副会長／東京都大森医師会 理事
鈴木内科医院 院長

鈴木 央 先生



講師
紹介

1987年 昭和大学医学部卒

1999年 鈴木内科医院(東京都大田区)副院長を経て、2015年から同院院長、父である鈴木荘一氏が日本に紹介したホスピス、ターミナル・ケアの概念を引き継ぎ、プライマリ・ケア、特に在宅ケアを専門としている。

<学会資格>

日本プライマリ・ケア連合学会認定医、指導医

<学会役職等>

日本プライマリ・ケア連合学会 評議員／日本褥瘡学会 評議員 在宅医療委員会委員／在宅医療助成勇美記念財団 理事

■ 共催：旭川市医師会・旭川市